

第 10 回 西蒲区自治協議会 議事概要

日時：令和 6 年 1 月 25 日（木）

午後 1 時 30 分～午後 2 時 40 分

場所：岩室地区公民館 1 階 講堂

<p>事務局 (瀬戸補佐)</p>	<p>皆さんお疲れさまです。定刻となりましたので、これから令和 5 年度第 10 回西蒲区自治協議会を開催します。</p> <p>初めに本日の会議資料の確認をお願いします。</p> <p>事前に送付した資料として、資料の 1-1 から 1-3、各部会の状況について。参考資料、岩室地域認知症行方不明者捜索模擬訓練について。</p> <p>本日机にお配りした資料として、次第。資料 2、区自治協議会会長会議資料。参考資料、能登半島地震の被害状況について。角田山一周ハーフマラソン大会のチラシ。市ホームページより、西蒲原地区休日夜間急患センターのページ。議会報告会のチラシ。新潟市青少年育成協議会広報紙をお配りしています。</p> <p>本日の追加資料として、「岩室温泉ひな巡り」を配布させていただいております。</p> <p>最後に委員の皆さんには、秋葉区自治協議会から「秋葉区ひな・お宝めぐり」のチラシが届きましたので、お配りしています。</p> <p>また、2 月に総務部会と保健福祉部会が行う提案事業の出欠確認表をお配りしています。ご記入いただき、本日、事務局へ提出してください。</p> <p>資料は以上となります。過不足等ございませんでしょうか。</p> <p>ないようですので、これ以降の会議については、新潟市区自治協議会条例 9 条の規定により、吉田会長から議長として進行をお願いします。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>皆さんこんにちは。まず初めに、元旦に発生しました「令和 6 年能登半島地震」で尊い命を奪われてしまった方々に対し、衷心より哀悼の意を表しますとともに、被災されましたすべての皆さまに心からお見舞いを申し上げます。新潟市内でも、西区を中心にかなりの被害が出ており、西蒲区でも被害に遭われている方がいらっしゃると思います。改めましてお見舞いを申し上げます。</p> <p>それでは議事を進行してまいります。</p> <p>初めに、本日の委員の出席状況と傍聴者について事務局から報告をお願いします。</p>
<p>事務局 (瀬戸補佐)</p>	<p>委員の出席状況についてご報告します。委員 30 名のうち、本日の出席者は 27 名であり、過半数の出席を確認しております。</p> <p>従いまして新潟市区自治協議会条例第 9 条の会議の運営規定を満たしておりますことをご報告申し上げます。</p> <p>また、傍聴及び報道はございません。</p> <p>なお、本日堀区長は、災害対応会議のため欠席です。ご了承ください。</p> <p>なお、事務局で写真撮影及び録音をさせていただきますので併せてご了</p>

	承願います。
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。それでは議事に入ります。議事(1)「各部会の状況について」です。各部会長は前回の部会の状況について、総務部会、健康福祉部会、まちづくり・産業部会の順に説明者席で報告をお願いします。初めに総務部会古島部会長、お願いします。</p>
(古島委員)	<p>古島です。総務部会から報告します。</p> <p>先月行った第9回総務部会では、令和5年度区自治協議会提案事業および(仮称)にしかんLIFEフェスについて協議しました。</p> <p>令和5年度区自治協議会提案事業については、当日の運営資料の確認およびアンケートについて協議を行いました。</p> <p>当日の運営資料については、各自で内容を確認し、詳細は当日会場で打ち合わせを行う方向としました。</p> <p>アンケートについては、参加者の性別・年代・居住地、当日の事業に関する問題のほか、普段の防災に対する意識を確認する内容を盛り込むことで決定いたしました。</p> <p>(仮称)にしかんLIFEフェスについては、設置するブースについて協議を行いました。ウオークラリーおよび映画の上映ブースなど、さまざまなブースの案が出ました。詳しくは資料1-1をご覧ください。</p> <p>また、先ほど臨時部会を開催しました。</p> <p>2月18日に行われる「演劇で学ぼう 大切な命を守る 今すぐできる防災を」について、今回の震災を受けて来場される方の意識も変わっているだろうということで、プログラムの変更が必要なのではという意見が出たため、協議をしました。その結果、いくつかプログラムに変更が生じたので、ご説明します。</p> <p>ト部厚志教授による講演会「西蒲区の活断層について」を15分延ばしました。それに伴い、防災演劇を15分短くすることとしました。アフタートークはそのまま実施し、最後に30分の質疑応答の時間を設けることとしました。ト部厚志教授と、日本防災士会新潟県支部事務局長の成川一正様に、来場者からの質問に答えていただく予定です。</p> <p>当日ご来場の方には、入場整理券の発送の際にご案内をさせていただく予定です。以上です。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。私の方から1つ補足をさせていただきます。</p> <p>今ほど2月18日に開催される総務部会の提案事業について、一部プログラム変更ということで話がありました。</p> <p>一部時間の変更は致し方ないと思っており、なおかつプラスして質疑応答の時間を設けたいということです。これについては、先ほど部会で承認を得たので、この全体会で、皆さんに承知していただければ、それでよろしいのかなと思っています。</p> <p>当然、申し込みをされた方に対して案内を発送しますが、そこには追加して質疑応答を設けますのでぜひ時間があつたらよろしくをお願いします、と</p>

	<p>いう内容になるかと思えます。</p> <p>内容やテーマを変えらるとなると、もう 1 回全体会で諮ることになります が、それはよほどのことではないとできないことです。今回総務部会では、震 災を経て若干のプログラム変更をしたいということですので、ぜひ皆さん ご承知おきいただきたいと思っております。</p> <p>こちらのプログラムの時間変更及び質疑応答の追加について、承認いた だけるということでよろしいでしょうか。</p> <p>ありがとうございました。今のものを踏まえまして、総務部会の説明につ いてなにかご質問・ご意見はありますでしょうか。</p> <p>ちなみに今時点で何名の申し込みか分かりますか。</p>
(小島委員)	310 名です。
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>もう 1 点補足です。当日、西川多目的ホールは使えるのですが、ステー ジが使用禁止になりました。稼働椅子の前に椅子を並べる予定だったとこ ろを使って講演や演劇を行いますので、ご了承ください。</p> <p>ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>古島部会長、ありがとうございました。</p>
(古島委員)	ありがとうございました。
議長 (吉田会長)	続きまして、保健福祉部会岩崎部会長、お願いします。
(岩崎委員)	<p>岩崎です。保健福祉部会から報告します。</p> <p>先月開催しました第 9 回保健福祉部会では、令和 5・6 年度区自治協議会 提案事業について協議をしました。</p> <p>令和 5 年度提案事業では、信友直子さん講演会・映画上映会の PR チラ シ、当日配布するアンケート、当日の役割分担について協議を行いました。</p> <p>協議の結果、アンケートについては支え合いの意識醸成事業に関連した 質問項目を入れることとしました。</p> <p>また、当日の来場者受付について、来場者が速やかに受け付けできるよう 工夫すべきとの意見がありました。</p> <p>それから、現在までの申し込み者数を報告します。</p> <p>1 月 23 日現在ですが、550 名から申し込みをいただいております。定員 が 400 名ということでしたので、150 人オーバーしています。</p> <p>大変多くの方が認知症について関心があると感じています。</p> <p>多くの方から学んでいただくためにも、今日の部会においてオーバーし た人数について定員を増やして入場をさせることができるか、予算等を見 ながら検討していきたいと思います。</p> <p>それから令和 6 年度の（仮称）にしかん LIFE フェスについて、本会議 の意見交換を踏まえて、部会としての方向性について協議しました。</p> <p>協議の結果、保健福祉部会で検討するブースについて支え合いの意識醸</p>

	<p>成を念頭においたブースをいくつか設置するという事で確認しました。</p> <p>具体的な内容については、本日検討したいと思います。</p> <p>なお、ブースに関する委員の意見は資料の1-2に記載してありますので、後ほどご覧いただきたいと思います。保健福祉部会からは以上です。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。今ほどの説明につきまして、なにかご質問・ご意見はありますでしょうか。</p> <p>非常に多い人数の申し込みですね。巻文化会館は950席あるので、なるべく多くの方から参加できるようにしていただけるとありがたいです。</p>
(岩崎委員)	<p>事務局の方でも検討を進めており、チラシやポスターの経費が若干ういているようなので、そのあたりを見ながら、できるだけ多くの方が参加できるように検討していきたいと思います。以上です。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。ほかにいかがでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。岩崎部会長、ありがとうございました。</p> <p>続きましてまちづくり・産業部会大橋部会長、お願いします。</p>
(大橋委員)	<p>大橋です。まちづくり・産業部会から報告します。</p> <p>1点目は、(仮称)にしかんLIFEフェスについてです。まちづくり・産業部会のテーマが「地域を知ろう！」ということで、西蒲区のものづくりや、自然・郷土芸能といった分野で取り組みをしていくと確認しています。</p> <p>3つの柱として、まず西蒲の食ということで、仕出し屋の弁当や土産物、にしかんないろ野菜の販売をしてはどうかという意見が出ています。</p> <p>西蒲の芸能としては、ステージイベントで、各地で行われている神楽や民謡を行ったらどうかという意見が出ています。</p> <p>西蒲の体験としては、竹を使ったワークショップや鯛車の関係に取り組んでいこうという話でまとまっています。</p> <p>詳細については、ブースの配置も含めて現在検討しているところです。</p> <p>2点目は令和5年度自治協議会提案事業「にしかん応援隊」について、特に各コミ協が関係しているイベント・祭り等で、人手が足りないところを応援できるような態勢を整えようということで、現在検討を進めています。</p> <p>1月に入ってから、部会のメンバー2人1組でコミ協に説明に行き、そこでこの応援隊の内容について説明させていただき、周知を図りました。まちづくり・産業部会からは以上です。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。今ほどの説明について、なにかご質問・ご意見はありますでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。大橋部会長、ありがとうございました。</p> <p>(仮称)にしかんLIFEフェスについては、2月にプロジェクト委員会を開催していただき、われわれ会長・副会長もオブザーバーで参加させていただく予定です。各部会の状況を踏まえて、協議をしたいと思っております。</p> <p>よろしくをお願いします。</p> <p>それでは議事(1)を終了します。</p>

	<p>次に、報告（１）「区自治協議会会長会議の報告について」です。 本日机上配布された資料をご覧ください。</p> <p>１月２３日に会長会議が開催されました。会長会議は８区すべての自治協議会の会長で構成されており、連絡調整などを行っています。</p> <p>今回は令和６年度の全体委員研修会開催案について協議しました。開催日時については、まだ決定ではありませんが、５月７日から１７日のあいだで予定しています。</p> <p>会場については未定です。開催形式については、全体で事例発表の後、各分科会に分かれて意見交換を行い、その内容を全体で共有する予定です。</p> <p>会議の中では、今回震災もあったので防災をメインにしてはどうかという意見がありました。決まり次第、内容をお知らせしたいと思いますので、ぜひご参加いただければと思います。</p> <p>分科会について、少し数を増やして１分科会１５名程度で開催したらどうかという話もあったのですが、今回は防災をメインに各分科会をしたらどうかという話もありました。決まりましたら、また皆さんにお知らせしたいと思います。報告は以上です。</p> <p>ただ今の件についてご意見・ご質問はありますか。 それでは報告（１）は終了します。</p> <p>次に「その他」西蒲区の課題、地域の情報などです。</p> <p>初めに能登半島地震の被害状況について、地域総務課より報告をお願いします。</p>
<p>事務局 (高橋地域総務課長)</p>	<p>地域総務課の高橋です。私の方から、今回の地震の被害状況をご説明させていただきます。</p> <p>１月１日の地震により、西蒲区内でも西川を中心に大きく被害が出ているところ。被害に遭われた皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。</p> <p>それでは資料に沿って説明をさせていただきます。</p> <p>お手元にお配りした参考資料をご覧ください。</p> <p>まず、１の被害状況（１）人的被害の状況です。</p> <p>市内では、重傷者１名、軽症者２１名となっており、うち西蒲区で軽症者１名となっています。</p> <p>続きまして（２）建物の被害は記載のとおりです。罹災証明申請等に基づき、現在被害については調査中ですが、数値は今後増加することが想定されます。</p> <p>西蒲区においては、神社の一部倒壊や車庫、ブロック塀の倒壊、ガス漏れなど、西川地区を中心に被害が確認されています。</p> <p>区役所も、外壁や室内の壁のひび割れ、漏水などの被害が確認されたところ。次に裏面の「罹災証明」をご覧ください。</p> <p>こちらの表については、昨日２４日現在の数字となっています。現在、罹災証明の申請をいただいている件数は、全市で１０,３６１件であり、西蒲区に</p>

おいては 436 件となっています。現在調査中のため、今後増加することが想定されます。また、申請の方も、急激ではありませんが日々増えている状況です。

続いて (3) 道路についてです。農業大学校前や西川地区内など、区内で 14 か所の一時通行止めとなりました。1 月 24 日現在では、そのうちの 11 か所が解消しておりますが、まだ 3 か所がまだ通行止めとなっています。こちらについては、ただ今復旧に向けて努めているところです。

続いて 3 ページの避難の状況については、現在避難所が開設されているところと人数が掲載されています。避難所を開設しているのは西区のみであり、2 か所で 22 名の方が避難されています。西蒲区においては、1 月 1 日当時 40 か所開設をし、最大避難者数は 521 名となっています。

次に 3「液状化による泥処理について」をご覧ください。

西区を中心に液状化の被害が多く出ております。また、西蒲区内でも、場所によっては液状化被害が出ている部分もあり、各区役所の方で液状化に対する土嚢袋等を配布し、処理にあたっていただいております。西蒲区では 33 枚、ご希望のあった方にお配りさせていただいたところです。ただ、土嚢袋については、西蒲区で灯籠の被害かかなり多くあり、がれきの処分と利用したいという相談もあったのですが、あくまでも液状化の土の処理ということで、市内で統一させていただいておりますので、灯籠のがれきでの使用はお断りした経過もありました。

続いて「新潟市災害対策本部からの大切なお知らせ」というチラシをご覧ください。

今回の地震の関連で、住宅の修理や災害ごみなど、各種相談の担当窓口や、罹災証明などを周知するために作成したものです。

こちらの情報については随時更新したうえで提供させていただきたいと考えています。なお、こちらの資料についてはホームページ等でもご覧いただけますので、そちらもご確認をいただければと思います。

資料の右上に、西蒲区版ボリューム 1 と記載しておりますが、こちらはあくまでも西蒲区版ということで、特に被害が大きかった西川地区で全戸配布させていただいております。各区役所・出張所窓口にも設置しておりますし、コミ協にもデータをお送りさせていただいております。お困りの方がいらっしゃいましたらこちらをお渡しいただければと思います。

また、現在 1 月 24 日から、中央区、西区、江南区で 3 か所、罹災相談窓口を開設しています。西蒲区においても今後、開設を検討しているところですので、開設が決まりましたら皆さんにご連絡をさせていただきたいと思っております。

また、各種支援制度など、災害からの復旧や、生活の再建を支援する段階となってきており、区役所としても迅速に対応できるよう努めていきたいと考えておりますので、引き続きよろしく申し上げます。

それから、今回 1 月 1 日 16 時 10 分に地震が発生し、16 時 12 分には津

	<p>波警報が発令されたところです。津波警報は1月2日1時過ぎまで出ておりましたが、新潟市では津波の浸水予想や、洪水の浸水予想ということで、新潟市の総合ハザードマップというものを準備しております。そちらのホームページ画面をご覧ください。</p> <p>ハザードマップは、黒と黄色を基調したような冊子であり、中学校区単位で作成され、平成30年度に全戸配布させていただいております。皆さんの中でご覧になったことがある方、また、お持ちの方もいらっしゃるかと思います。</p> <p>現在は、ホームページで各自ご確認いただきたいと思います。</p> <p>また、LINEからもハザードマップをご覧いただけますので、今後の避難計画等の参考にしていただきたいと思います。</p> <p>簡単ではありますが、被害状況の報告をさせていただきました。よろしくお願いいたします。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。ただ今の説明についてなにか質問はありますでしょうか。</p> <p>小林副会長、お願いします。</p>
(小林(ア)委員)	<p>ホームページ等でハザードマップを見るのは、お年寄りには難しいと思います。</p> <p>もう校舎がないとか、施設がないとか、以前と状況が違うと思うのですが、ハザードマップの最新版を配る予定はないのですか。</p>
事務局 (高橋地域総務課長)	<p>ありがとうございます。今のところは予定がないのですが、今、市全体で災害に対しての見直しといたしますか、情報の伝達ということでどのような方法がいいか考えておりますので、ハザードマップについても、ホームページなど使えない方にお伝えしていく方法も少し検討させていただければと思っております。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ほかにいかがでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。高橋課長、ありがとうございました。</p>
事務局 (高橋地域総務課長)	<p>もう1つ補足をさせてください。先ほど、大切なお知らせということで、西蒲区版のお話をさせていただきました。今、電子バージョンで「ボリューム2」ということで、ホームページに出しております。そちらについては主に罹災証明関係ということで、被災相談窓口を中心とした内容となっておりますので、後ほどご確認いただきたいと思います。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。よろしくお願いいたします。</p> <p>せっかくの機会ですので、震災の関係でなにかお伝えしたいこと等ありますでしょうか。</p> <p>上原委員、お願いします。</p>
(上原委員)	<p>上原です。避難所の鍵なのですが、私が自治会で役員をしていた時は、最初、市の職員が来て開ける。それから間に合わなければガラスを割って鍵を開けて入るというルールでした。</p>

	<p>私は城山運動公園が避難所になっているのですが、巻西中学校では入り口に鍵入れがあって、それを2つの自治会長が開けられるようにしています。</p> <p>鍵の扱いがばらばらというのは良くないと思うので、統一するのであれば統一していただきたいです。以上です。</p>
事務局 (高橋地域総務課長)	<p>ありがとうございます。今、避難所の鍵の開けていただくのは、市・区役所の職員、施設管理者の方、また、あるところでは地域の方に鍵をお渡しして開けていただいているところです。</p> <p>今、上原委員からお話のあった鍵ボックスというものは、約半数の中学校と小学校に設置しています。</p> <p>鍵ボックスには暗証番号が設定してあり、鍵を持って行かなくても、その場に着けば、暗証番号を入力して開けられるという仕様になっています。</p> <p>鍵ボックスの管理についても、暗証番号が分かればすぐ開けられてしまうという部分もあるので、取り扱いを検討しながら、少しずつ広げていけたらと考えております。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>ほかにいかがでしょうか。</p> <p>栗原委員、お願いします。</p>
(栗原委員)	<p>漆山の栗原です。漆山地域の方から聞いた話なのですが、障がいのある方が近くの小学校に避難したとき「あなたはこちらの避難所ではないです」と言われて入れなかったそうです。実際、避難所に入るのを断られるということがあるのでしょうか。</p>
事務局 (高橋地域総務課長)	<p>ありがとうございます。避難所・避難場所については、指定区域というものはございません。どこに避難されても、避難場所は避難してもいい場所です。</p> <p>ただ、校区とか、地域によって一応決めていただいて、いちばん近いところへ行っていただければと思います。今回、障がいのある方が断られたのでしょうか。</p>
(栗原委員)	<p>ご病気の方でなかなか動けなくて、大きい避難所にしたいということで近くの小学校に避難をしたら、そのように言われたという話を聞きました。</p>
事務局 (高橋地域総務課長)	<p>その件については、個別事象ということで、検討させていただきたいと思います。また、時間が経ってきますと、福祉避難所というものが開設されますので、受け付けた担当の職員が少し、認識誤りがあったのかもしれませんが。今回、各避難所において、鍵の開け方や参集の仕方などご意見をいただいておりますので、そのあたりもまた見直しもさせていただいたうえで対応もさせていただきたいと思っています。</p>
(栗原委員)	<p>ありがとうございます。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ほかにいかがでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。</p>

	<p>次に、田中副会長より、昨年岩室地域で行われた「認知症行方不明者の捜索模擬訓練について」報告をお願いします。</p>
(田中 (弘) 委員)	<p>それでは私の方から、昨年の 10 月 20 日に岩室地区で実施した捜索模擬訓練について、その背景と概要について説明をします。</p> <p>昨年の 2 月に、岩室の和納地区で実際に認知症患者による行方不明事案が発生し、しばらくしてから残念なかたちで発見されるという事故が発生しました。</p> <p>その時、ご家族が通報を躊躇されたのか、自治会に連絡があったのはしばらく経ってからということであり、連絡を受けた自治会もどう対応しているのかわかに判断がつかなかったということで、捜索を始めるまでに時間を要してしまいました。</p> <p>このような認知症の行方不明事案が発生した場合、発見されるまでの時間が早ければ早いほど、生存確率が高くなると言われています。逆に言うと、3 日目以降になると、生存確率が急に下がってしまうということで、いち早く捜索を開始できるかどうかということが、生存に向けての節目となります。</p> <p>その点で、この和納地区での事故は、私たちにとって大きな課題と教訓を与えてくれたということが言えます。</p> <p>そのような折、西蒲区社会福祉協議会から、西蒲区初の捜索模擬訓練を岩室地域で実施してはどうかという打診があり、検討した結果、岩室地域社会福祉協議会とコミュニティ協議会の合同で開催をするはこびとなりました。</p> <p>当初は 2 月の事故を踏まえて、和納地区の自治会のみを対象と考虑しておりましたが、こういう行方不明事案というものはどこでも誰にでも起こりうるため、岩室地区全 44 の自治会を訓練の対象としました。</p> <p>そして 4 月頃からコミ協と岩室社協、西蒲区社協、民生児童委員、包括支援センターと西蒲区内の支え合いのしくみづくり推進委員の皆さん、さらに西蒲警察署、西蒲区役所を加えて、企画会議を行い、模擬訓練の実施に向けて協議を重ねてきました。</p> <p>その中で、捜索のための手順を示したフローチャートならびに自治会の対応マニュアル、また、家族への聴き取りシートなどをまとめ、訓練に臨みました。</p> <p>訓練当日は報道機関も合わせて 100 名を超える参加となり、行方不明事案の発生時を寸劇で再現し、フローチャートに従った連絡手順を確認しました。</p> <p>本日はそれらの資料を配布しております。ただ、このフローチャートについてはあくまで岩室版であるため、各地区の実情に合わせたカスタマイズが必要になってくると思います。</p> <p>訓練は捜索手順の確認の後、実際に 3 つのコースに分かれて、それぞれのコースに配置をした徘徊役を探すという形で、和納地区を 30 分間探しま</p>

	<p>した。</p> <p>当日は防災行政無線を鳴らし、地域の皆さんに訓練の周知と協力をお願いするなど、本番さながらの対応を取ることができました。</p> <p>搜索訓練後、会場に戻ってワークショップを開き、参加者から様々な意見をいただきました。その中でも、「大勢では取り囲まず、1人がとりに座ってやさしく話しかけた」あるいは「自然で落ち着いた会話で安心感を与えることができた」など、発見時の声かけの重要性を認識したという意見が多く寄せられました。</p> <p>今回の訓練の参加者は、自治会役員や民生児童委員など、探す側が中心だったのですが、今後は搜索を依頼する側でもある地域の皆さんに、搜索の手順などをどう広めて落とし込んでいくか、これが課題となってきており、各自治会の総会や防災訓練の場を通して地域への浸透を図っていきたいと考えています。</p> <p>また、認知症の患者の中には、運動機能にまったく問題ない方がいらっしゃいます。そのような方が行方不明になった場合は、私たちの想像を超えるスピードで長距離を移動してしまうということも分かってきており、そのような場合、事案が発生した地域から既に出ているという場合も考えられます。</p> <p>今回の搜索訓練の取り組みが多く地域に広がって、ほかの地域で発生した事案でもハートメールなどを通して得た情報により、たくさんの方の目がそこに注がれるということで、早期の発見にもつながってくるのではないかと考えています。</p> <p>今後の西蒲区での取り組みについて、西蒲区社会福祉協議会の小林裕委員に説明をしていただきたいと思いますのでよろしく申し上げます。</p>
<p>(小林(裕)委員)</p>	<p>西蒲区社会福祉協議会の小林です。</p> <p>今ほど、田中副会長からお話がありました。皆さんにお配りしている行方不明者対応フローチャートやマニュアルについては、岩室地区で通用するものです。</p> <p>今回の訓練はこれが周知されたので実施できたのですが、これをほかの地区でやろうと思っても、岩室地域のように動けないという状況です。</p> <p>昨日、ハートメールに登録されている方には連絡が行ったと思いますが、この西蒲区内で行方不明者が現在進行形で発生しております。</p> <p>1月17日に行方不明になったのですが、連絡をいただいたのが1週間後ということで、おそらく家族の方が躊躇されたのではないかとこのところでは、このような取り組みが周知されていけば、このような事態を避けられると思っておりますので、この取り組みがいろいろな地域で進められればと思っています。</p> <p>来年度の西蒲区社会福祉事業として、認知症地域見守り体制構築事業を計画しております。これについては、すでに西蒲区役所と協働事業ということで、地域総務課と健康福祉課とお話をさせていただいております。</p>

	<p>目的は3点あります。1つ目は、1人でも多くの地域住民に認知症の理解を深めるということ。2つ目は、認知症の方を持つ家族が地域に気軽に相談できる環境を作ること。3つ目は、もしもの時に地域のネットワークが機能する仕組みを構築するということを目的としています。</p> <p>内容としては、この岩室地区で行った認知症行方不明者搜索訓練の実施やマニュアル策定などを行うというものです。</p> <p>来年度は中之口地区で行うという話が挙がっており、まだ決定してはいないのですが、そちらの方で計画を立てていただこうと考えています。皆さんの所属する自治会やコミ協でも、そういった話があればぜひ相談していただければと思います。</p> <p>もう1つが、今年度岩室地区で訓練を実施しましたが、実は巻東中学校の授業の中でも、認知症の搜索模擬訓練を実施しています。小・中学生のうちからこういった認知症の知識を学んでいただき、搜索に加わるということで、協力体制ができればと思っています。</p> <p>なによりも各地域で、認知症の方の行方不明事案が発生した時に機能する、すぐに見つけられる態勢を整えればということがいちばんだと思いますので、もしこういう企画等ありましたらぜひご相談いただければと思います。以上です。</p>
(田中(弘)委員)	<p>ぜひ皆さんの地域でも、この取り組みを検討していただければと思います。ありがとうございました。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>ご説明ありがとうございました。なにかご質問はありますでしょうか。</p> <p>今ほど小林委員から、西蒲区社会福祉協議会ではこういった取り組みを連携して行っていくという話がありました。</p> <p>まずは1号委員の皆さん、各コミ協に今の話を持ち帰っていただいて、岩室地域で認知症行方不明者搜索模擬訓練を実施したということで、詳しくは岩室コミ協や西蒲区社会福祉協議会に聞いてみていただければと思います。各地域でこういった取り組みができるといいと思っていますし、各地団体でも、もし取り組んでみようということであれば、ぜひ社会福祉協議会の方に連絡していただければと思っています。</p> <p>今ほど小林委員から話がありましたが、現在搜索依頼が1名出ております。もし見かけられましたら、西蒲警察署に通報していただけるとありがたいです。皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>田中副会長、非常に素晴らしい事例をありがとうございました。</p> <p>今後も、各コミ協や地域で行っているモデル的な事例がありましたら、ぜひこの自治協議会で紹介していただきたいと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>次に、「角田山一周ハーフマラソン大会」について、若杉委員より説明をお願いします。</p>
(若杉委員)	<p>お疲れさまです。西蒲区スポーツ協会の若杉です。</p> <p>今回で第9回目になります、角田山一周ハーフマラソンについてご案内</p>

	<p>させていただきます。</p> <p>リーフレットを配布したのですが、変更点があります。西蒲区社会福祉協議会が後援に加わってくださるということで、このリーフレットには間に合わなかったのですが、プログラムの方に新しく加わることになりました。</p> <p>今回は4月7日に開催であり、コロナ禍での開催となった昨年度は729名の選手からエントリーいただきました。</p> <p>今年度は近隣の大会と日程が重なることから、エントリー者が例年より伸び悩む傾向にあります。前日に「さくらマラソン」があり、そういったところから、エントリー数が今のところ例年より80人ほど少ない状態です。ですので、興味・関心のある方、ぜひ西蒲区の魅力あふれるコースを走っていただければと思います。2月14日まで申し込みを受け付けておりますので、ふるってご参加をお願いします。</p> <p>また、前回大会で好評だった、中之ロジュニアプラスによる五ヶ峠の演奏、日本文理高校のチアリーディング部や、越王太鼓による応援も予定しています。</p> <p>選手が完全燃焼できるように、沿道からのさらなる温かい応援をぜひお願いします。</p> <p>あと、コロナ禍前まで実施していた、走り終わった選手に配布するふるまい甘酒が、今回から復活する予定なのですが、甘酒作りをしてくださるボランティアスタッフがまだ見つかっておりません。ご協力いただけそうな団体がいましたらお知らせください。</p> <p>それと、周辺道路のコース周辺の自治会の皆さんにはご迷惑をおかけしますが、例年ごとく、交通規制にご協力をお願いします。</p> <p>また、本大会の実行委員会事務局の電話番号(0256)73-1233が現在使えない状態となっています。復旧は2月5日を予定していますが、それまでは城山運動公園の電話番号(0256)72-1212にかけていただければと思います。よろしくをお願いします。以上です。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>ありがとうございました。なにかご質問はありますでしょうか。</p> <p>ぜひ、甘酒を作るボランティアや選手の募集について、積極的に周知・PRしていただけるとありがたいです。</p> <p>次に古島委員より、西蒲原地区休日夜間急患センターについて発言の申し出がありましたので、よろしくをお願いします。</p>
<p>(古島委員)</p>	<p>古島です。</p> <p>西蒲原地区休日夜間急患センターについて、医療従事者の皆様のご尽力に日頃感謝しているのですが、1つ要望があります。</p> <p>混雑時、待合室があふれかえっている状態の時は、車内で待機できるようにならないかという要望を挙げさせていただきます。</p> <p>年末に家族が3人ほど、別々の日にお世話になったのですが、39度から40度の発熱がある中で、1時間ほど立って待っていなければならないという状態でした。ホームページに記載されていますが、多い時には1日150</p>

	<p>名ぐらいの患者が訪れるということで、救急とはいえ常態的に混雑しているという話もうかがっています。</p> <p>インフルエンザやコロナも流行の兆しがあり、今後も混雑していくのだろうなという中で、患者の肉体的な負担や、家族が代わりに待とうかと思っても 2 次感染が怖くてなかなか入れないとか、そういう現状もありますので、呼び出し装置等を活用して車内待機をできるようにご配慮いただきたいということを要望として申し上げます。以上です。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>そういった要望がありますので、健康福祉課長、お願いします。</p>
事務局 (渡辺健康福祉課長)	<p>健康福祉課の渡辺です。今ほどのご意見なのですけれども、担当課は、保健衛生部の地域医療推進課になりますので、いただいたご要望は私からしっかりお伝えさせていただきたいと思います。ありがとうございます。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に、3月の自治協議会は3月21日に開催する予定ですが、中原市長との意見交換会を計画しております。細かい内容は全然決めておりませんが、1時間程度、中原市長にいていただいて、市長の説明を受け、それで私たちから質問というかたちになると思います。ちなみに前期は、皆さんから一言ずつお話をいただきました。</p> <p>なかなか市長と話をできる機会はないと思いますので、今回もできれば、皆さんから一言ずついただきたいと思いますが、そのあたりはまた次回ご案内したいと思います。</p> <p>そのほか、事前の発言の申し出はございませんでしたが、なにか西蒲自治協議会全体で議論したい課題、あるいは皆さんにお伝えしたい行事などがございましたらご発言をお願いします。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、小林副会長のほうから一言いただき、事務局にお返ししたいと思います。</p>
(小林(ア)委員)	<p>大変お疲れさまでした。</p> <p>1月1日の震災はびっくりしました。子どもも孫も帰ってきていて、みんながそろっている時に発生しましたが、家族の心配をする必要がなかっただけ、今回はまあまあだったかなと思っています。家族がばらばらになっていた時だと、連絡が大変だったろうなと思っています。家族でも、なにかあった時の連絡方法を決めておこうと思いました。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>
事務局 (瀬戸補佐)	<p>ありがとうございました。事務局からご連絡します。次回の西蒲区自治協議会については2月29日木曜日の午後に開催予定です。</p> <p>なお、次回の会場は本日と同じ岩室地区公民館となりますので、お間違えのないようにお願いします。</p> <p>ご案内については、後ほど改めて送付させていただきますので、よろしく</p>

	<p>お願いします。</p> <p>次に、このあとの各常任委員会を開催します。会場について、総務部会、2階研修室。保健福祉部会、3階大会議室。まちづくり・産業部会、3階視聴覚室で行いますので、ご移動をお願いします。</p> <p>常任委員会の開始時刻は、2時45分とさせていただきます。</p> <p>ご面倒でも、お手元の名立てを持ってご移動ください。それでは以上をもって令和5年度第10回西蒲区自治協議会を終了します。ありがとうございました。</p>
--	--